

# 皇族とベニスの商人

先月17年ぶりに、皇族の高円宮家典子さまが、出雲大社宮司の長男との婚姻が発表され、皇族の身分から離れられます。

皇族には承継男子が現在一人です。将来皇族は減少します。

ある意味、我が国の人口問題と類似しています。

将来「女性宮家」の創設が日本を救う事になるのでは。私達は殆ど意識をしていない

いのですが、国民の核心の一つではないでしょうか。

訳のわからない略語や、カタカナ語を多用し、権威的な名称や言葉操る人がいますが、ほぼ現代の詐欺師とみて狂いはない。

聞き直しても確な説明が来ない（聞いても分からない）のが通例です。話している本人が真に理解していない場合が多いのです。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

## 事務所便り

2014年6月16日 (月) NO 352

地域から明るい未来を作ろう

### 7月19日金沢思風塾開催

理解していれば分かるように説明出来るのですが、自分を飾り、自分も真に説得できるほどにかかっていないものですか、相手に分かるように説明ができない。バカにする不誠実を絵に書いたような人物です。

人間の弱点、不安と欲を巧みに利用し金銭を短期・長期的に吸い上げます。これらの関係者に多いのが金融、証券、保険、ノンバンク（ローン）会社です。

監督官庁は全て財務省（金融庁）であります。

大胆に言えば、国民相手から奪うことで成立する省庁、会社であります。

この共通点は、直接何んの価値も創造していません。利益は本来創造した価値や感動が対価ですから、ただ奪うだけの現代版、「ベニスの商人」です。

特にこの会社は現代社会に深く組

み込まれているため私たちは彼らの本質を、良く理解しなければならぬ。為替、金融政策など注視しなければならぬのです。

考えていた通り真っ直ぐな人物でありました。近郊に於いて一代で事業を確立、現在50名を超える雇用を確保、維持する若手経営者であります。

話は少し変わります。最近ですが実際、債務超過二億余の「火中の栗を拾う」「ホワイト・ナイト」なる人物に遭遇しました。どう考えても現代に異次元な発想の人、只者ではないと思っていました。直接お会いできる機会があり、

何かを教わり、分かり合える部分を感じた気がした。感性である繋がりを自覚し、我々自身が成長し変わらなければならぬ。出来なければ同じ事を繰り返すだけで、責任と能力が真に試されています。

## 素早い対応と処理の追求

働くことの語源は「傍を楽にする」と言われます。

回りを楽にする、喜んでもらいたい、幸せになつてほしいから本来働くのです。

誰かを傷つけ、奪い自分だけの利益を求める発想や行動は、結局自分のところに帰ってきます。

相手の幸せのため、相手の喜びのため、自分は何ができるかでしょう。

全ては繋がっています。

一人の間は、我々が宇宙と呼ぶ全体の一部、時間的、空

間的に制限されている部分である。人間は、自分の意志や感情を、他の部分から独立したもとして経験するが、これは一種の錯覚、すなわち人間

は少ない。

大きな付けを届けなければなりません。

本来、働くことは他者を思いやる事が、根底にある。

ビジネスの基本は、価値の創造です。

多くの人の幸せが自分の幸せです。

## 働く意味

目に見えない繋がりが、古代からの不条理な世界に、理屈を超えた魂の声に導かれ、宇宙全体から生かされていることを感じる。

の意識が視覚によって騙されているのである。」とアインシュタインも語っています。

見えない、書いてないから許され、見えるから正しいのでは

ありません。これを分かる人

